

◎ 高学年 | 「読書、話し合いの学習」

テーマ読書による「読書会」を開こう ～伝記を読む～

○ **子どもの読書生活を充実させよう！**

朝の読書を行う学校も増えました。これはとても良い取り組みです。しかし、ただ「朝読書」を行えば良いというものではなく、国語科の読書指導や、各教科・領域における学習を踏まえ、子どもの読書生活をより活性化させる働きかけが大切です。

○ **「テーマ読書」を呼びかけてみよう！**

読書には、「個人だけで完結しない」という楽しさがあります。そこで、「友情」「冒険」などを書いたカードを用意し、読んだことのある本を紹介してもらいましょう。子どもたちは自分と同じ本を読んだことがある友達を探したり、紹介された本に興味を示したりしているはず。話題となった本のコーナーを設けるだけでなく、「○○に関する本を読み合って読書会を開こう」と投げかけてみましょう。

○ **「伝記」を読んで話し合おう！**

自分の将来などを考え始める高学年では、「伝記」を題材とした読書会を開いて、「生き方」について話し合しましょう。学期初めに子どもたちに読んだことのある伝記を挙げさせ、整理しながらクラスみんなに紹介していく方法もあります。同じ人物の伝記を読んだ人同士をパネラーにして、ディスカッションを開いてもよいでしょう。

<歴史上の人物の仲間分けを話し合う>

例えば、歴史上の人物を次のように分類します。

- ①何かを発明した人（エジソンなど）
- ②何かを発見した人（野口英世など）
- ③最初に何かをした人（リンドバークなど）
- ④歴史を動かした人（坂本龍馬など）

やがて、ここに当てはまらない人物が浮かび上が

ってきたときには、ヘレン・ケラーは「三重苦を乗り越えて、生きる勇気をくれた人」、マザー・テレサは、「愛とは何か教えてくれた人」などの名ゼリフが、子どもたちの間から飛び出すようになります。

<年表に並べて話し合う>

挙げられた人物を次のような一覧表にまとめます。（目的に応じて、日本と世界を対比させてもよい）

	1750	1760	1770	1780	1790	1800	1810	1820	1830	1840	1850	1860	1870	1880	1890	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	
ナポレオン																											
ファーブル																											
トマス・エジソン													★														
キュリー夫人																★											
ライト兄弟																★											
ヘレン・ケラー																											
マザー・テレサ																											

子どもは、自分が読んだ伝記の人物と重なる時代に活躍していた、他の人物に目を向け始めます。「ナポレオンはコルシカ島に流されたんだよね。すると、同じ島で虫の研究をしていたファーブルと出会っていたかもしれない」「ファーブルはまだ子どもだったはずだよ」

さらに、その人物を特徴づける出来事が起こった年に★印をつけていくと、伝記の人物が生きていた時代背景が浮き彫りになっていきます。「ライト兄弟が、夜中に飛行機作りができたのは、エジソンが“ライト”を発明してくれていたからなんだね」「キュリー夫人の研究もそうじゃない？」

子どもたちの間で、自然とこのような会話が起これることで、ただの「年号」が意味を持ち始めます。つまり、伝記で描かれる世界は、物語の世界とは違い、確かに自分たちが生きている世界と同一の現実世界であるという実感が生まれ、現在にまで脈々とつながる歴史概念が形成されることにもなるのです。